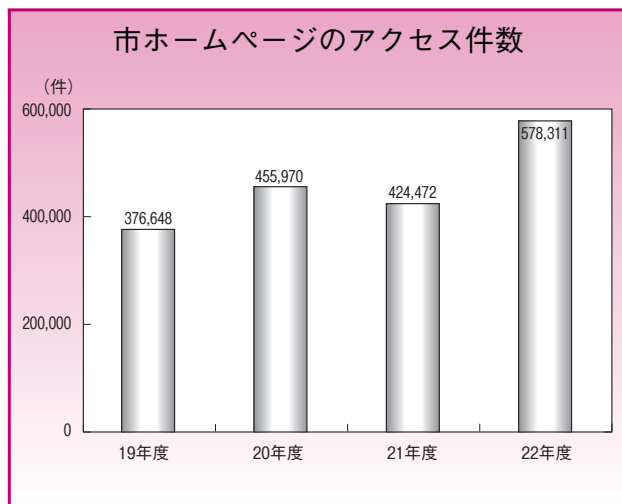


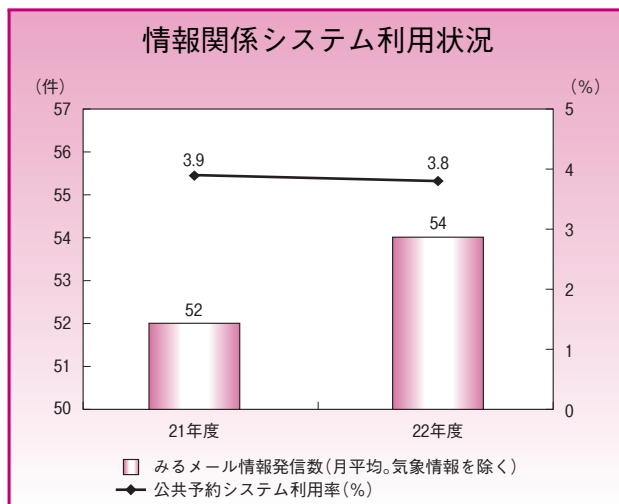
基本施策 7-④ 地域情報化の推進

現状

平成22年度末に市内全域で光によるブロードバンド*通信が可能となりました。また、平成23年7月には地上波テレビ放送が完全デジタル化されました。このように、私たちを取りまく情報通信環境が著しく変化している中、これら技術の活用を図るとともに、市民生活の質の向上を図っていく必要があります。



※22年度は、東日本大震災の影響により急激にアクセス数が増加しており、この影響分を除いた通常のアクセス数は488,892件と想定されます。



課題

- ・ 情報発信手段の多様化への対応
- ・ 情報管理の徹底
- ・ 地域公共ネットワークの活用
- ・ 新たな技術への対応

目指すべき方向

(1) 情報通信技術を活用した行政運営

基本施策 目標指標

市民満足度

基準値 (平成22年度)

49点



目標値 (平成28年度)

54点

※市民満足度は、「満足している」100点、「やや満足している」75点、「どちらともいえない」50点、「やや不満である」25点、「不満である」0点とした時の全回答者の平均得点

個別計画……地域情報化計画 (平成24年度～平成33年度)

*ブロードバンド：(Broadband)広帯域通信網のことで、高速で大容量の情報を送受信できるアクセス回線。光ファイバーやCATV、ADSLなど概ね500kbps以上の高速な通信回線のこと。

*データの第2次バックアップ：データのバックアップを複数とり、その一部を他のバックアップデータと異なる場所に保管すること。

*情報セキュリティポリシー：企業などの秘密情報や個人情報などの管理、コンピューターウイルスなどによるリスク管理についてまとめた規範のこと。

*行政手続きのオンライン化：国の行政機関や地方自治体への申請や届出をインターネット上で実現すること。

具体的な施策

(1)-1 市民との情報の共有化

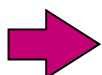
ホームページやメール配信を充実させ、市民との情報共有を図るとともに、緊急時における迅速な情報提供に努めます。

主要事業 ホームページ管理運営事業

目標値 市ホームページへのアクセス数

現状(平成22年度)

488,892件



目標(平成28年度)

600,000件



(1)-2 情報の危機管理体制の確立

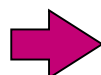
災害等による情報の損失を防ぐため、情報の危機管理体制を確立していきます。

主要事業 情報危機管理事業

目標値 データの第2次バックアップ*体制の確立

現状(平成22年度)

未実施



目標(平成28年度)

一部実施



(1)-3 セキュリティ対策の充実

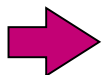
個人情報の適正な管理とネットワークの安全対策を強化するため、職員への意識の啓発や内部監視体制の強化とともに、情報セキュリティポリシー*の適正な運用に努めます。

主要事業 情報資産管理事業

目標値 内部監査実施対象課数(年間)

現状(平成22年度)

2課



目標(平成28年度)

12課



(1)-4 情報通信基盤の活用

前期基本計画期間中に整備された地域公共ネットワーク等の地域情報通信基盤を活用した事業や新たなメディアの利活用の調査研究を進めます。

主要事業 行政手続きオンライン化*支援事業

自然と共生する
まちづくり

快適で潤いのある
まちづくり

健やかに安心して暮らせる
まちづくり

安全で便利な
まちづくり

活力を創出する
まちづくり

豊かな心と文化を育む
まちづくり

創意と協働による
まちづくり